

平成29年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	選挙管理委員会事務局
部(局)長名	赤坂 文生

【基本姿勢】

選挙管理委員会のもと、民主主義の根幹である選挙が、公正かつ適正に行われるよう執行管理を行うとともに選挙人の利便の向上を図ります。あわせて、あらゆる機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努め、選挙、投票参加の促進を図ります。

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。）

【重点課題】

	重点課題	平成29年度 達成状況
1	適正な選挙の執行	A
2	投票環境の向上	B
3	選挙啓発の推進	A

部(局)名	選挙管理委員会事務局
-------	------------

重点課題 1	適正な選挙の執行
--------	----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	適正に選挙を執行できる体制の確立を目指します。
---------------------	-------------------------

活動目標
選挙の執行計画の見直しを行います。
職場内研修の充実を図ります。

具体的な取組実績
衆議院選挙では、開票体制の見直しと、国民審査用の自書式投票用紙自動読取分類機（OCR）を2台更新し、これまでの同種選挙と比べ開票時間の短縮を図りました。
国際文化アカデミー主催の研修と都道府県選挙管理委員会連合会主催の講習会にそれぞれ職員1名を派遣、また近畿都市選挙管理委員会連合会などが主催する事務研究会等に計11回、延べ22名の職員が参加するとともに、職場内の事前研修も実施し、情報共有と知識のレベルアップに努めました。

達成目標
効率的に適正な選挙を執行可能な計画を策定します。
職場全体の選挙執行に必要なスキルの向上を実現します。

達成状況	達成度
10月に執行された衆議院選挙では、開票体制の見直しと、自書式投票用紙自動読取分類機（OCR）10台の稼働により、開票時間の短縮を図ることができました。突然の解散による選挙であったこと、選挙当日に台風が直撃したこと等の影響はあったものの適正に執行することができました。	A 達成
定期的な職場研修や事務研究会等への出席を積み重ね、選挙執行に必要なスキル・知識を高めました。	A 達成

総合評価・総括
<p>10月に執行された衆議院選挙では、突然の解散による選挙であったこと、選挙当日に台風が直撃したこと、使用できなくなった投票用紙自動交付機の更新したこと等の理由で執行経費は直近の同種選挙と比べ増額しましたが、開票事務従事者の適正な配置や自書式投票用紙自動読取分類機（OCR）の効果的な活用方法を検討した結果、開票時間を短縮することができました。</p> <p>従事者の適正な配置や作業工程を綿密に見直し、より効率的に適正な選挙が執行可能な計画を策定できますよう今後も取り組んでまいります。</p>

部(局)名	選挙管理委員会事務局
-------	------------

重点課題 2	投票環境の向上
--------	---------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	あらゆる選挙人の投票環境向上を図ります。
---------------------	----------------------

活動目標
投票区割り及び投票所施設の 検証を行います。
投票所施設の環境の検証を行 います。

具体的な取組実績
利便性の向上や施設の適正を考慮し、投票所施設 の変更を行いました。また、選挙人に対しては投票 所変更の周知に十分な期間を考慮し、案内の通知を 送付しました。
各投票所の段差の有無や形状等の状況を把握し、 スロープ設置などの必要な措置を講じました。

達成目標
選挙人の利便性に配慮した投 票区割り及び投票所設置に向け 調整を行います。
あらゆる選挙人の利便に配慮 した投票所内環境を整えます。

達成状況	達成度
地域からの投票所設置要望に対して は、調査、検討を進めました。一方、突 然の解散による選挙のため、一部では、 急遽、下足ホールに投票所を変更し、有 権者に不便をかける結果となりました。	B 一部達成
各投票所の実態調査を進め、スロープ の設置や改修を行い、バリアフリー化を 推進しました。	A 達成

総合評価・総括

市内58か所の投票区について、市民の方からの要望や人口の増減を受け、投票区割りや投票所施設の変更について調査、検討するとともに、期日前投票所を含めた各投票所の現状の把握に努め、必要に応じてスロープの設置や改修、レイアウトの見直しを行うなど、あらゆる選挙人にとって選挙権を行使しやすい投票環境の実現に努めました。

一方、突然の解散による選挙のため、一部では、急遽、下足ホールに投票所を変更し、有権者に不便をかける結果となりました。

部(局)名	選挙管理委員会事務局
-------	------------

重点課題 3	選挙啓発の推進
--------	---------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	若年層の政治意識向上を目指します。
---------------------	-------------------

活動目標
教育機関と連携した啓発を実施します。
明るい選挙推進協議会と連携した啓発の充実を図ります。

具体的な取組実績
大学で3回、高校で2回の出前授業を実施しました。また、白バラ講座を大阪学院大学と連携し、実施しました。
明るい選挙推進協議会との共催で、小中学生を対象とした明るい選挙啓発ポスターコンクールや白バラ講座を開催しました。

達成目標
高校等での啓発イベント開催を教育機関と連携を図り実施します。
明るい選挙推進協議会と連携を図り、若年層向けの啓発イベントを実施します。

達成状況	達成度
大阪学院大学と連携し、白バラ講座を実施し、100名を超える来場者を得ました。	A 達成
明るい選挙推進協議会との共催で実施した白バラ講座では、若年層でも親しみやすいように、選挙クイズを行いました。若年層いわゆる10代、20代の来場者数は過去最高となりました。	A 達成

総合評価・総括

本年度の白バラ講座は、若年層の来場を見込むため、夏休み期間中に実施し、また、学生が参加しやすいように大阪学院大学にて実施しました。講座では、若年層参加型の選挙クイズ選手権を行い、楽しみながら政治意識の向上を図るよう工夫しました。その甲斐もあり、若年層の来場者が過去最高となり、当日は報道機関から若年層への取材があったり、番組にて報道がなされたりしました。また、衆議院選挙時に送付した新有権者メッセージカードは新聞で報道されました。

これらの若年層を対象とした事業に一定の効果はあったと考えていますが、引き続き、若年層の政治意識が向上するような啓発活動に取り組んでまいります。